



# 宇津貫みどりの会 第102号

宇津貫みどりの会  
連絡先 城所幸子  
TEL/FAX 042-636-2466



吹く風の涼しさに季節の移り変わりを知らされる時期です。

宇津貫みどりの会は、お陰様で昨年設立30周年を迎えました。

昨年から、設立30周年記念誌の作成の準備をしてきましたが、この度、試行錯誤の末「里山の守り手の物語」と題して発行の運びとなりました。設立のきっかけや初めての篠刈り、公団との関わり、山の手入れが定着するまでの数々の奮闘ぶりが読み取れる内容となっています。

また、宇津貫緑地はみなみ野の開発で免れた動植物が生息する貴重な場所です。四季折々の花との出会いには下草刈りや間伐などの日々の手入れが欠かせません。これは会員各々がこの緑地を守るために力を発揮し、協力し合い得た結果です。近年の気候変動や自然災害などで課題は残されていますが、出来る範囲のスキルでこれからも緑地と向き合っていく所存です。

最後になりましたが、30年という長い間、地元の方々はじめ、様々な団体にもお世話になりましたことに、改めまして感謝申し上げます。

今後とも、ご支援の程、よろしくお願ひいたします。

宇津貫みどりの会  
城所 幸子

## 宇津貫緑地へのお誘い

宇津貫緑地の手入れ作業の見学、および体験は随時受け付けています。会のホームページにて、活動日をご確認の上、お問い合わせください。

連絡先：城所 042-636-2466まで

当会のホームページをご覧ください。

<http://utsunukimidori.ie-yasu.com/>

又は、QRコード



本文の一部を以下に紹介します。(本文52頁)

## 会設立のきっかけ

### 1-2 宇津貫みどりの会の設立

1988年、公団(注1)による南八王子土地区画整備事業の工事が始まった頃、子供育成会が植えたサクラや毘沙門天のサクラの木が伐られると聞いて、何とか残せないものかという思いが地元の人々の間に生まれた。殿台(現在のみなみ野君田小学校付近)には見事なサクラがあり、開花を待ちわびていたが、それらも伐られようとしていた。ほとんどの地元住民が、工事によって移転を余儀なくされる中、代々受け継がれてきた屋敷林も、家を風や火事から守ってきた「檜ぐね」(注2)も伐られようとしていた。

そのような樹木を守ろうと地元の主婦15名が立ち上がり、地元住民の大切な樹木を寄贈していただき、それらを公園などに移植して残すための運動を始めた。当時の町会長に掛け合い、町内の皆さんへアンケートを取り、その結果をまとめて公団へ「地元移植要望樹木リスト」として提出した。この運動が「宇津貫みどりの会」設立のきっかけである。



檜ぐね

## 緑地のエリア紹介

### ③ ヤマツツジの丘

第一皆伐地からゆるやかな勾配の尾根道を南の方に上っていくと、左側にヤマツツジが目に入ってくる。このエリアはヤマツツジが群生していることから「ヤマツツジの丘」と名前がつけられている。約10年前までは開花状況はあまり良くなかったが、南側の第二皆伐地にあるコナラなどの樹木を伐採することで、日光が入り、周辺ヤマツツジの花つきがよくなった。



## 山の手入れ作業

### ▷ 落ち葉掃き

落ち葉掃きは、葉が落ちきって、春の花が芽吹く前までに行う恒例の作業である。かつての里山では、落ち葉を堆肥にして利用していた。緑地では、腐葉土として有効活用すること以外に、落ち葉を軽く掃くことによって、早春から地面に日光が当たり、埋土種子などが芽を出すことも期待している。落ち葉掃きの手順は、まずは腐りにくいササ類やホオノキの葉を除去し、次に枯れた小枝などの除去を行う。それから



資料の一部を以下に紹介します。(資料36頁)

花ごよみ

種名	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1 オオイヌノフグリ		■	■	■	■	
2 ホトケノザ		■	■	■		
3 ナズナ		■	■	■		
4 ウグイスカグラ		■	■	■		
5 ミチタネツケバナ		■	■	■		
6 アセビ		■	■	■		
7 ヤマハンノキ		■	■			
8 フクジュソウ		■	■			
9 ヤマルリソウ		■	■	■		
10 アオイスミレ		■	■	■		
11 タチツボスミレ			■	■	■	
12 ヒメオドリコソウ			■	■	■	
13 シュンラン			■	■	■	
14 アズマイチゲ			■	■	■	
15 スズメノヤリ			■	■	■	
16 ヨゴレネコノメ			■	■	■	
17 フキ			■	■	■	
18 カントウタンポポ			■	■	■	■
19 カキドオシ			■	■	■	■
20 ミツバツチグリ			■	■	■	
21 アカフタチツボスミレ			■	■	■	
22 カテンソウ			■	■	■	
23 タネツケバナ			■	■	■	
24 カタクリ			■	■	■	
25 ダンコウバイ			■	■	■	

～編集スタッフに聞きました～

1、誰に読んで欲しいですか？

- ・会員、元会員だけでなく、近隣の住民や学校の生徒さん
- ・幼友達
- ・花好きの人

2、特に読んでもらいたい部分は？

- ・各執筆者の強い「思い」が込められているので、全章隅々まで
- ・第一章。会の設立のきっかけから、現在に至るまでの、植物保全活動
- ・地元の人にもよく知らない、公団との関わり
- ・緑地のエリア紹介

3、編集に関わって良かったことは？

- ・会の活動を再認識する機会になった
- ・皆さんの努力で冊子が完成したこと
- ・文章作成の勉強になりました
- ・1年半にもなる長期間、飽かず真摯に取り組んだこと
- ・冊子にまとめられなかった過去の記録、先輩方の努力に触れられたこと

## 【イベントのお知らせ】

宇津貫みどりの会は、宇津貫緑地の保全整備だけでなく、里山文化の継承や自然と親しむ行事も行っています。近々(11月)のイベントは以下があります。

どうぞ、ご見学、およびご参加ください。

### 1、宇津貫みどりの会 設立30周年記念「あゆみ展」開催

\*日時：11月5日(土) 11時～17時 11月6日(日) 9時～16時

\*会場：由井市民センター みなみ野分館 第1会議室 (無料)

\*展示内容：

- ・30周年記念誌「里山の守り手の物語」の紹介
- ・パネル展示：30年の振り返り、活動の様子、宇津貫緑地四季の花 など
- ・ビデオ上映
- ・資料公開 など

### 2、ワークショップ「野山の材料でリースづくりをしよう！」

\*日時、会場：上記「あゆみ展」内にて実施

《各コース 定員5名 事前予約制、参加費 200円》

11月5日(土) 14時～

11月6日(日) 10時～

11月6日(日) 14時～

\*お問い合わせ、連絡先：宇津貫みどりの会 城所 TEL:042-636-2466

### 3、歴史と緑の散策 (ハイキング)

\*日時：11月23日(水、祝) 9時～14時(予定) (小雨決行)

\*集合、受付：JR横浜線 八王子みなみ野駅 改札前広場 9時

\*コース：八王子みなみ野駅 ⇒ 毘沙門天(スダジイ) ⇒

宇津貫公園(保存サクラ) ⇒ 七国閑道西尾根緑地(湧水、水田跡) ⇒

七国の丘公園 ⇒ ドッグラン ⇒ 見晴台 ⇒ 湯殿山供養塔 ⇒

切通し(七国峠古道) ⇒ 相原中央公園(昼食) ⇒ 長福寺 ⇒ 諏訪神社 ⇒

JR相原駅 (希望者は、ドッグランまで歩いて戻ります)

\*参加費：200円(保険代、資料代)

\*参加希望者は、当日、直接集合場所においでください。(予約不要)

また、道が一部ぬかるんでいるところがあります。

しっかりした靴でご参加ください。



#### 【編集後記】

宇津貫みどりの会の30年に渡る活動をまとめた、『里山の守り手の物語』を紹介しています。

便利で快適な「みなみ野シティ」の住民にとって、その開発の裏で、少しでも多くの貴重な自然を残そうとしてきた活動や、オアシスとして残った宇津貫緑地について知っていただくきっかけになればと思います。